令和９年度

大学院教育学研究科（修士課程）

学 生 募 集 要 項

東 京 学 芸 大 学

令和８年４月

本学への出願を検討している皆様へ

「こども性暴力防止法」が
令和８年（2026年）12月25日にスタートします。
～実習生も性犯罪前科の有無の確認が求められる可能性があります～

令和８年（2026年）12月25日に「こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）」が施行されます。この法律は児童対象性暴力等の防止等のため、こどもに対して教育・保育などを行う学校（幼稚園を含む）や保育所などに性暴力を防ぐための取組を求めるものです。制度の詳細は以下のwebページをご覧ください。（制度全般に関するご質問はこども家庭庁にお問い合わせください。）

こども家庭庁「こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）」
https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety/efforts/koseibouhou

本学では非常に多くの学生が学校（幼稚園を含む）や保育所などで実習等を行うことから、同法の施行により学校（幼稚園を含む）や保育所などに求められる取組や実習生に関する留意点等について十分にご理解いただいたうえで、本学に出願してください。

【学校（幼稚園を含む）や保育所などに求められる取組】
日頃から、こどもを性暴力から守る環境づくりを進めます。
こどもと接する業務に就く人（実習生も含まれる）に、性犯罪前科の有無を確認します。
性暴力のおそれがある場合は、こどもと接する業務に就かせないようにします。

【実習生に関する留意点】
実習等の計画において、こどもと一対一になることが予定されている、期間が相当長期にわたるなど、実習生がこどもに対して支配性、継続性及び閉鎖性を有する実習等であると判断された場合、性犯罪前科の有無の確認が必要となる場合があります。なお、性犯罪前科の有無の確認が必要かについての最終的な判断は、実習等を実施する学校（幼稚園を含む）や保育所などが行います。

性犯罪前科の有無の確認が必要であると判断された場合、実習生本人よりこども家庭庁が開設するシステムに本人確認情報（戸籍など）の登録が必要となり、性犯罪前科があると確認された者は、こどもと接する実習等を行うことはできなくなります。

実習等を行うことができない場合、教育職員免許状（いわゆる教員免許）のほか、当該実習等を行うことが必要となる資格等の取得ができなくなることに加え、修了要件を満たすことができず、修了ができない可能性があります。

これらのことから、こども家庭庁及び文部科学省からの依頼に基づき、入学手続時に同法に基づく実習生に関する留意点への同意書、性犯罪前科がない旨の誓約書を提出していただきます。（性犯罪前科がない旨の誓約書は入学後にも提出していただきます。）

令和9年度東京学芸大学大学院教育学研究科（修士課程）試験期日等日程

【インターネット出願サイト】
・マイページの登録　・出願内容の登録　・検定料の支払い
令和８年８月２１日（金）９時～８月２８日（金）１５時

↓

【出願書類の印刷と郵送】
令和８年９月１日（火）※必着

↓

【受験票の印刷・受験者心得等の確認】
令和８年９月２４日（木）１０時頃～

↓

【試験期日】
令和８年１０月１７日（土）
令和８年１０月１８日（日）

↓

【合格発表】
令和８年１０月３０日（金）１０時頃～

↓

【入学手続期限】
令和８年１１月１６日（月）
※郵送の場合は必着

【お問い合わせ先】

○「入学者選抜試験」について
学務部入試課　・☎042-329-7203
・入試に関するお問い合わせフォーム
https://forms.office.com/r/xU9hcPqRCD
※フォームは試験当日などの緊急連絡には使用できません。

○「カリキュラム，履修基準」について
学務部大学院課　・☎042-329-7704
・修士課程に関するお問い合わせフォーム
https://forms.office.com/r/5YaYSrxHQC

目　　次

□　大学院教育学研究科（修士課程）のアドミッション・ポリシー …………………… 2
１．募集人員 ………………………………………………………………………… 4
２．出願資格 ………………………………………………………………………… 5
３．出願資格⑨により出願しようとする者の資格認定について …………………… 6
４．選抜区分及び選抜区分ごとの出願要件 ………………………………………… 7
５．標準修業年限 …………………………………………………………………… 8
６．出願手続 ………………………………………………………………………… 8
７．受験に際して配慮を必要とする者の事前相談 ………………………………… 12
８．「派遣教員選抜」の事前相談 …………………………………………………… 12
９．選抜方法等……………………………………………………………………… 13
　○　学力検査等の内容及び配点……………………………………………………… 14
　○　学力検査等の内容及び時間……………………………………………………… 15
10．合格者の発表 …………………………………………………………………… 17
11．欠員補充第２次募集 …………………………………………………………… 17
12．入学手続 ………………………………………………………………………… 17
13．諸経費 …………………………………………………………………………… 17
14．留意事項 ………………………………………………………………………… 18
15．入学試験情報……………………………………………………………………… 18
16．個人情報の取扱いについて …………………………………………………… 18
○　入学料及び授業料免除制度 …………………………………………………… 19
○　日本学生支援機構奨学金の予約採用制度 ……………………………………… 19
○　本学へのアクセス・構内キャンパスマップ…………………………………… 19
＜参考＞東京学芸大学インターネット出願の流れ………………………………… 20

□大学院教育学研究科（修士課程）のアドミッション・ポリシー

東京学芸大学大学院教育学研究科（修士課程）は，豊かな人間性と科学的精神に立脚した教育研究活動を通じて，高度な知識と技能を修め，21 世紀の知識基盤社会を担う「有為の教育者」を養成することを目的としています。

修士課程２専攻のアドミッション・ポリシーは以下のとおりです。

各専攻のアドミッション・ポリシー

次世代日本型教育システム研究開発専攻	本専攻は，日本型教育システムについての研究開発の目的意識を持ち，次世代の日本型教育システムの教育研究に積極的に取り組むことのできる人材育成を目的とし，入学者選抜においては，本専攻で学ぶ上で必要とされる知識・態度・能力等を有しているかを判断するために，学力検査，面接試問，出願書類により総合的に評価を行い，以下のような人を受け入れる。 （１）次世代の日本型教育システムを自らの手で研究開発し，その成果を新しい教育の実践・制度に反映させることで社会に貢献しようとする意欲のある人 （２）学士課程において学んだ自身の専門研究分野に関して基礎的知識を有し，日本の文化と日本型教育システムの特長と課題に関する基礎的知識を有している人 （３）次世代日本型教育システムについての研究成果を国内外で積極的に発信するためのコミュニケーション能力・語学力を有する人

教育支援協働実践開発専攻	本専攻は，「教育の高度情報化（AI サービスの活用等)」,「教育における心理支援」,「教育における連携・協働化」に対応し，学校教育の内外での教育支援協働において先導的役割を果たす人材を養成することを目的とし，入学者選抜においては，本専攻で学ぶ上で必要とされる知識・態度・能力等を有しているかを判断するために，学力検査，面接試問，出願書類により総合的に評価を行い，以下のような人々を求めている。 （１）学校教育と教育支援についての知識を有し，専門職業人にふさわしい能力と技能を高度化させ，社会にとって有為の教育者を志す人 （２）現代社会における教育の課題について十分な認識を有し，その解決に積極的に貢献し，教育支援協働の先導的役割を担うことを志す人 （３）教育実践と教育支援協働に関する基礎的な研究・開発能力を有し，その創造性・独創性を発揮し，この分野での先端的研究に貢献することを志す人 （４）教育支援協働についての教育・研究の成果を，国内外で積極的に発信するためのコミュニケーション能力・語学力を有する人 本専攻は３つのプログラム（※）を展開するために，それぞれにおいて特に以下のような人を優先的に受け入れる。 教育 AI 研究プログラム １）高度情報化に対応した教育を，自らの手で研究開発し，教育の分野で AI サービスを利活用することで社会に貢献しようとする意欲のある人 ２）学士課程において学んだ自身の専門研究分野に関して基礎的知識を有し，技術の発展による社会の変化と教育の課題に関する基礎的な知識を有している人 臨床心理学プログラム １）学校教育を臨床心理学の専門家としての立場から支援するため，自らの臨床心理学に関する専門性を深め，スクールカウンセラーや教育相談員等として，学校教育や教育臨床の分野で社会に貢献しようとする意欲のある人 ２）学校教育や教育臨床における臨床心理的課題についての基礎的な知識と活動経験を有している人 教育協働研究プログラム １）学校教育を支援するため自らの教育支援協働に関する専門性を深め，教育支援協働の分野で社会に貢献しようとする意欲のある人 ２）教育支援協働についての基礎的な知識と活動経験を持ち，その経験知を理論化することに意欲のある人

※「プログラム」とは：

本専攻における「プログラム」とは，教育支援の方法に関する特定の専門的力量を形成するための教育内容上のまとまり（授業履修のあり方を類型化したもの）である。

教育 AI 研究プログラムは,「教育において AI サービスを活用するための力量」を,
臨床心理学プログラムは,「教育において臨床心理課題に取り組むための力量」を,
教育協働研究プログラムは,「教育において支援ネットワークを構築するための力量」を,

形成する。

１． 募集人員

専　　攻	入学定員	プ　ロ　グ　ラ　ム	募集人員 ・一般選抜 ・現職教員選抜 ・派遣教員選抜 ・社会人選抜 ・教育支援人材特別選抜 ・外国人留学生等選抜
次世代日本型教育システム研究開発専攻	20 名		20 名
教育支援協働実践開発専攻	89 名	教育 AI 研究プログラム	35 名
		臨床心理学プログラム	20 名
		教育協働研究プログラム	34 名

（１）志願者は，志望するいずれか１つのプログラムに限り出願することができます。

（２）**臨床心理学プログラムは公認心理師・臨床心理士の資格取得が可能なコースとして募集定員 20 名とします。ただし，これらの資格取得を希望する場合，「一般選抜」でのみ受け付けます。**

（３）各専攻・プログラムの研究領域及び担当教員については，本学修士課程ウェブサイト「教育組織・教員紹介」ページをご確認ください。
《https://www.u-gakugei.ac.jp/graduate/master/organization/》

２．出願資格

＊全ての選抜区分に共通

次の①から⑨のいずれかに該当する者

① 日本の大学を卒業した者又は令和９年３月までに卒業見込みの者

② 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 104 条第７項の規定により学士の学位を授与された者又は令和９年３月までに授与される見込みの者

③ 外国において，学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和９年３月までに修了見込みの者

④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和９年３月までに修了見込みの者

⑤ 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和９年３月までに修了見込みの者（注１）

⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって出願資格⑤の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者

⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和９年３月までに修了見込みの者（注２）

⑧ 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第５号参照）（注３）

⑨ 本学大学院教育学研究科において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，令和９年３月 31 日までに 22 歳に達する者（注４）

（注１）該当する教育施設及び課程（文部科学省ウェブサイト）
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shitu/08052204/1417852.htm

（注２）該当する専修学校専門課程（文部科学省ウェブサイト）
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111316/002.htm

（注３）該当する者（文部科学省ウェブサイト）
https://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/nc/k19530207001/k19530207001.html

（注４）個別の入学資格審査を必要とする者は，短期大学，高等専門学校，専修学校（出願資格⑦に該当するものを除く。），各種学校，その他の教育施設，外国大学日本分校の卒業者，外国の２年制・３年制大学（出願資格⑥に該当するものを除く。）等の卒業者，中国における自学考試による学位取得者等が該当します。以下の「３．出願資格⑨により出願しようとする者の資格認定について」により申請書類を提出してください。個別の入学資格審査の要否が不明な場合は，事前に入試課へ問い合わせてください。

３．出願資格⑨により出願しようとする者の資格認定について

本学大学院教育学研究科への入学資格審査を申請する者は，下記の書類①～⑥を一括して，東京学芸大学入試課あてに「書留速達」にて郵送（必着）してください。なお，この他に必要に応じて証明書等の提出を求める場合があります。

申請期間　令和８年６月３０日（火）～令和８年７月３日（金）

申請先　〒184-8501　東京都小金井市貫井北町４－１－１　東京学芸大学入試課

書類等の名称	摘要
①入学資格審査申請書	・本学所定の用紙（注１） ・取得免許状等諸資格については，証明書を添付すること。
②成績証明書及び 卒業（見込）証明書	・原本を提出すること（コピー不可） ・高等学校卒業後の学歴に関するものすべてを提出すること。 ・出身学校の学校長，学長又は学部長が作成したもの（注２） ・日本語又は英語以外の言語で作成された証明書には，必ず日本語訳又は英語訳を添付すること（様式自由）
③在職証明書 （該当者のみ）	・本学所定の用紙（注１）に所属長等が証明したもの ・勤務先名，職名，職務内容，常勤･非常勤の別，在職期間及び１週間あたりの勤務時間数等が明記されていること
④教育研究歴･活動歴･ 学習歴申立書 （該当者のみ）	・本学所定の用紙（注１） ・教育研究歴，芸術･スポーツ･文化活動歴もしくは国際団体等での活動歴又は学習歴がある者は，提出すること（また，それを証明できる書類を提出のこと）
⑤教育研究業績等一覧	・本学所定の用紙（注１） ・教育研究業績，活動実績又は学習内容を記入の上，教育実践記録，口頭発表，研究論文，競技記録，発表記録，表彰等がある者は，その写しなど証明できるものを添付して提出すること（業績等のない者もその旨を明記し，提出すること）
⑥返信用封筒	郵便番号･住所･氏名を明記し，410 円分の切手を貼付した長３形封筒

１．入学資格の審査結果は，申請者に対し，文書により８月上旬（予定）に発送します。

２．審査の結果，入学資格を認められた者は，本要項の「６．出願手続」により出願することができます。

３．提出された書類等は返還しません。

（注１）本学所定の用紙は，本学ウェブサイトからダウンロード，印刷して申請してください。
《https://www.u-gakugei.ac.jp/nyushi/shushi/post-5.html》

（注２）中国（香港・マカオ・台湾を除く。以下同じ。）の高等教育機関を卒業した者は，出身学校の学校長，学長又は学部長が作成した卒業証明書の代わりに<u>中国高等教育学生信息网（CHSI）において申請・取得した以下の書類（英文版）</u>を各自印刷して提出してください。

・「Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate」

・「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」

中国の高等教育機関を卒業見込みの者は，日本語版又は英語版（中国語の原本を提出する場合は必ず日本語又は英語の翻訳を添付すること）卒業見込証明書の代わりに，中国高等教育学生信息网（CHSI）において申請・取得した以下の書類（英文版）を印刷して提出してください。

・「Online Verification Report of Student Record」

※中国高等教育学生信息网（CHSI）の証明書については，申請から取得まで時間を要するため，期間に余裕をもって申請するようにしてください。

４．選抜区分及び選抜区分ごとの出願要件

選抜区分	対象者	出願要件（出願資格以外の要件）
一般選抜 （注１）	大学新卒者，一般社会人等	なし
現職教員選抜	学校又は教育研究諸機関で教員の職にある者	・出願時において，学校又は教育研究諸機関に教員として在職している者で，常勤又は非常勤の職にあり，入学時点において３年以上の経験を有し，現職教員選抜を希望する者（注３），（注４）
派遣教員選抜	学校又は教育研究諸機関で教員の職にある者	・都道府県教育委員会・指定都市等教育委員会から大学院派遣研修として１年以上にわたり勤務を離れ研修を行うことの命令を受けた者又は承諾を得て推薦された者（注５）
社会人選抜	３年以上の経験を有する社会人等	・出願時において，教育研究諸機関，官公庁，企業等に在職している者で，常勤又は非常勤の職にあり，入学時点において３年以上の経験を有し，社会人選抜を希望する者（注３），（注４）
教育支援人材特別選抜 （注２）	教育支援人材の資格認証を受け，教育支援活動の従事経験を有している者	・出願時において，教育支援人材の資格認証を受け，教育支援活動に１年以上従事した経験を有する者で，教育支援人材特別選抜を希望する者（注６）
外国人留学生等選抜	外国人留学生又は外国において教育を受けた者	・日本の大学に留学する目的をもって入国した者で，外国人留学生等選抜を希望する者（注７） ・日本国籍を有する者及び外国籍を有し在留資格が「定住」若しくは「永住」となっている者のうち，外国において中等教育以降大学等卒業までのすべての期間，その国の教育制度に基づく教育を受けた者で，外国人留学生等選抜を希望する者（注８）

（注１）臨床心理学プログラムで公認心理師・臨床心理士の資格取得を希望する場合は，一般選抜での出願のみとする。

（注２）教育支援人材特別選抜は，教育支援協働実践開発専攻教育協働研究プログラムのみ対象。

（注３）現職教員選抜及び社会人選抜の出願要件において，非常勤の職にある者が出願する場合は，出願時において１週間あたりの勤務時間が 12 時間以上であること。また，勤務先が複数の場合は，合算して 12 時間以上であること。さらに勤務の内容及び態様について，勤務先ごとに在職機関の責任ある者の証明が得られること。

（注４）現職教員選抜及び社会人選抜の出願要件において，経験年数の算出は，入学時点（令和９年４月１日現在）において，勤務形態が常勤又は常勤の職員と同等である非常勤の職にあった期間（通算）を指す。なお，１か月未満の期間がある場合は１か月に切り上げて算出する。休職した期間がある場合にはその期間を除く。

（注５）修士課程には，１年間での修了を可能とする特例措置はありませんので，出願前に志望する専攻・プログラムとの事前相談を行うこと。（詳細は 12 頁参照）

（注６）「教育支援人材の資格認証」は，大学等が主体となって資格認証している団体の資格を対象とする（例　一般社団法人教育支援人材認証協会「こどもパートナー」「こどもサポーター」）。

（注７）外国人留学生について，在留資格が「定住」若しくは「永住」となっている者は，「日本の大学に留学する目的をもって入国した者」とは認められない。

（注８）外国において教育を受けた者について，外国に設置された学校であっても，日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校（日本人学校等）に在籍した者は除く。

５．標準修業年限

２年

本学修士課程における一部の授業科目は，６・７時限や土・日曜日に開設される場合がありますが，１～５時限に開設される授業科目も多くあります。

また，必修科目の一部に学外での活動を含んでいるため，夜間や休日のみの履修によって本学修士課程を修了することは困難です。日中の活動・仕事に従事しながら本学修士課程で修学することを希望する場合は，履修計画について事前に十分に検討してください。

「長期履修学生」制度について

学生が「職業を有している」等の事情により，教育学研究科の標準修業年限（２年）を超えて一定の期間（３年又は４年）にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する旨を申し出たときは，その計画的な履修を認めることができる制度（「長期履修学生」制度）があります。

この制度により長期履修学生が修了するまで，１年間に納める授業料の額は，標準修業年限（２年分）の授業料を，計画的に履修することを認められた一定の期間の年数（３年又は４年）で除した額となります。

なお，この制度は，在学途中で長期履修を申請することもできますが，その場合の授業料は標準修業年限分の授業料より高くなりますのでご注意ください。

ただし，本制度を利用するには一定の要件があります。

申請方法等の詳細については，合格した方にあらためてお知らせします。

※臨床心理学プログラムにおける公認心理師・臨床心理士の資格取得希望者は，本制度を利用できません。

６．出願手続

本学における出願手続は，「インターネット出願登録」及び「出願書類等の郵送」の２段階です。指定の期間内にいずれか一つでも手続が不足している場合は出願を受理しません。また，出願書類のうち，証明書類等は発行に時間を要することが多いため，余裕を持って準備してください。

（インターネット出願の詳細等について，20～23 頁を参照してください。）

（１）出願期間

インターネット出願登録期間 及び入学検定料支払い期間	→	出願書類提出期限 ※書留速達に限り受理します。
令和８年８月 21 日（金）９時から 令和８年８月 28 日（金）15 時まで		令和８年９月１日（火）※必着

※期間外に出願書類が到着した場合でも，令和８年８月 31 日（月）以前の国内発信局消印のある書留速達に限り受理します。郵便事情を考慮し，十分余裕をもって発送してください。

（２）インターネット出願サイトによる手続

①下記 URL からインターネット出願サイトにアクセスしてください。

≪https://e-apply.jp/ds/u-gakugei/≫

②マイページの登録

画面の手順に従って，必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。

③出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して，画面に従って必要事項を入力してください。

④検定料の支払い（詳細は 11 頁）

⑤入学志願票及び宛名シートをダウンロードして印刷

※「インターネット出願登録期間」以外の期間は，③～④の操作はできません。

※出願内容登録後は，登録内容の変更を認めません。

（３）出願書類等

出願期間中に，以下に示す出願書類等一式を角形２号封筒にまとめて封入し，「書留速達」により東京学芸大学入試課まで郵送してください。郵送の際は，インターネット出願サイトにて入学志願票とともに印刷される「宛名シート」（カラーで印刷してください）を封筒に貼り付けてください。

※１　出願書類等に不備があり，連絡が取れない場合は出願書類を受理しません。

※２　出願書類受理後は，記載事項の変更を認めません。

※３　受理した出願書類等は一切返還しません。（著書，論文，研究報告書，ポートフォリオ等も同様。）

※４　出願手続に不正があった場合は，入学許可の後でもこれを取り消します。

	書類等の名称	提出該当者						摘　　要
		一般	現職	社会人	支援人材	留学生等	派遣	◎：全員要提出 ▲：摘要欄に該当する者のみ要提出
①	出願書類等提出明細票	◎	◎	◎	◎	◎	◎	本学所定の用紙（注２）
②	入学志願票	◎	◎	◎	◎	◎	◎	インターネット出願サイトからダウンロードの上，次の３点に注意して印刷し，提出すること ・用紙はＡ４サイズ　・解像度は300dpi以上 ・カラーで両面印刷 ※インターネット出願登録時に登録する顔写真が入学志願票に掲載されます。顔写真は本人確認にも利用するため、画像編集ソフトやアプリ等による写真加工は行わないでください。
③	卒業（見込）証明書	◎	◎	◎	◎	◎	◎	・原本を提出すること（コピー不可） ・出身大学の学長又は学部長が発行したもの（注３） ・編入学等により複数の高等教育機関（大学等）に在籍した場合は全て提出すること　※卒業証書は不可 ・日本語又は英語以外の言語で発行された場合は，必ず日本語訳又は英語訳を添付すること（様式自由）
④	成績証明書	◎	◎	◎	◎	◎	◎	・原本を提出すること ・出身大学の学長又は学部長が発行したもの ・編入学等により複数の高等教育機関（大学等）に在籍した場合は全て提出すること ・日本語又は英語以外の言語で発行された場合は，必ず日本語訳又は英語訳を添付すること（様式自由）
⑤	面接調査書	◎	◎	◎	◎	◎	◎	本学所定の用紙（注２）
⑥	心理支援に関する活動報告書	▲	▲	▲		▲	▲	・臨床心理学プログラム志願者は提出すること ・本学所定の用紙（注２）に「心理支援に関する活動経験（ボランティア等を含む）」を記載し提出すること

	書類等の名称	提出該当者						摘　　要
		一般	現職	社会人	支援人材	留学生等	派遣	◎：全員要提出 ▲：摘要欄に該当する者のみ要提出
⑦	研究応用計画書		▲				◎	▲：教育協働研究プログラム志願者のうち「現職教員選抜」希望者 ・修了後の「研究応用計画」について，A4判用紙にワープロソフト等で和文2,000字程度にまとめ提出すること
⑧	研究業績書		◎	◎	◎		◎	・本学所定の用紙（注２）に必要事項を記入 ・志望する専攻・プログラムからみて該当すると思われる研究業績（著書・論文・研究報告書（原本又は写し），又はそれに相当するポートフォリオを添付すること）
⑨	在職（期間）証明書	▲	◎	◎	▲	▲		・本学所定の用紙（注２）（所属長が発行したもの） ・原本を提出すること ・次のいずれかに該当する者は提出すること（注４） １.「現職教員選抜」を希望する者 ２.「社会人選抜」を希望する者 ３．学校，官公署，その他民間会社等に在職中の者で現職のまま本学大学院に入学しようとする者
⑩	推薦書						◎	・本学所定の用紙（注２）又は都道府県等教育委員会が作成したもの ・都道府県等教育委員会から本学への直送可
⑪	戸籍抄本等	▲	▲	▲	▲		▲	・各証明書等と現在の姓が異なる者のみ提出 ・改姓の事実が確認できる公的機関発行の証明書等を提出すること ・戸籍抄本等証明書の場合は，原本を提出すること（コピー不可）
⑫	住民票	▲	▲	▲	▲	◎	▲	・外国籍の者は提出すること ・原本を提出すること（コピー不可） ・市区町村長の発行する証明書（国籍，在留資格，在留期間明記のもの） （※短期滞在等で住民票の提出ができない場合のみ，パスポートやビザの氏名及び顔写真が確認できるページの写しでも可とする）
⑬	国費外国人留学生証明書	▲				▲		・日本政府国費留学生は提出すること ・原本を提出すること（コピー不可） ・在籍している大学が発行したもの（在籍身分，留学期間明記のもの）
⑭	教育支援人材資格証明書				◎			・本学所定の用紙（注２）（当該資格を認定した団体が作成したもの） ・原本を提出すること（コピー不可）
⑮	教育支援活動従事証明書				◎			・本学所定の用紙（注２）（従事（活動）している団体が発行したもの） ・原本を提出すること（コピー不可）

（注１）出願資格の②により出願する者は，学位授与証明書又は学位授与申請受理証明書を提出してください。

（注２）本学所定の用紙は，本学ウェブサイトからダウンロード，印刷して提出してください。２枚にわたるものは両面で印刷してください。

《https://www.u-gakugei.ac.jp/nyushi/shushi/》

（注３）中国（香港・マカオ・台湾を除く。以下同じ。）の高等教育機関を卒業した者は，出身学校の学校長，学長又は学部長が作成した卒業証明書の代わりに中国高等教育学生信息网（CHSI）において申請・取得した以下の書類（英文版）を印刷して提出してください。

・「Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate」

・「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」

中国の高等教育機関を卒業見込みの者は，日本語版又は英語版（中国語の原本を提出する場合は必ず日本語又は英語の翻訳を添付すること）の卒業見込証明書の代わりに，中国高等教育学生信息网（CHSI）において申請・取得した以下の書類（英文版）を各自印刷して提出してください。

・「Online Verification Report of Student Record」

※中国高等教育学生信息网（CHSI）の証明書については，申請から取得まで時間を要するため，期間に余裕をもって申請するようにしてください。

（注４）在職（期間）証明書について，「現職教員選抜」又は「社会人選抜」を希望する者は，勤務経験通算３年分以上の証明書を提出してください。

複数の職歴を通算する場合は，通算３年以上になることが分かるよう複数枚作成してください。ただし，国公立学校教員等で，学校長が人事記録等により在職歴を確認できる範囲において，在籍期間を集約して証明することは差し支えありません。

（注５）その他必要に応じて証明書等の提出を求める場合があります。

（４）検定料について

① インターネット出願サイトにおける出願内容の登録時又は登録後，次のいずれかの方法で検定料 30,000 円（検定料に加え，支払い方法に応じた振込手数料も加算されます）を納入してください。検定料の支払いを完了すると出願登録内容の変更及び出願登録の取り下げはできません。

（ア）クレジットカードでの支払い

インターネット出願サイト登録時，画面の指示に従って支払手続を行ってください。

（イ）ネットバンキングでの支払い

インターネット出願サイト登録時，画面の指示に従って支払手続を行ってください。

（ウ）コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて，コンビニエンスストアで支払手続を行ってください。

（エ）ペイジー（Pay-easy）対応銀行ＡＴＭ（現金自動預払機）での支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて，ペイジー（Pay-easy）対応銀行ＡＴＭにて画面の指示に従って支払手続を行ってください。

② 一旦納入した検定料は，次の場合を除き返還しません。

（ア）出願書類が受理されなかった場合

（イ）検定料を振り込んだが出願書類を提出しなかった場合

（ウ）検定料を誤って二重に振り込んだ場合

（エ）国費外国人留学生として出願した者が合格し，本学に入学した場合

※ 検定料の返還について

㋐ ②(ア)に該当する場合

出願書類を返送する際に，検定料の返還請求手続方法について同封するので，それにより返還請求手続をしてください。

㋑　②(イ)又は(ウ)に該当する場合

速やかに本学経理課(TEL:042-329-7143)に連絡し，検定料の返還請求手続をしてください。なお，連絡が無い場合や返還請求手続が無い場合は，返還できないので注意してください。

㋒　国費外国人留学生として出願した者が本学に入学した場合

令和９年４月以降，国際課から検定料の返金について連絡しますので，案内に従って手続きをしてください。

※　検定料の免除について

震災及び台風等（激甚災害指定）で被災した志願者に対して，検定料の免除措置を行います。

詳しくはウェブサイト

（https://www.u-gakugei.ac.jp/02nyushi/menjo.html）をご覧ください。

（５）受験票の発行及び受験者心得の確認について

「受験票」はインターネット出願サイトにおいて令和８年９月 24 日（木）10 時頃に発行します。発行可能になりましたら出願時にご登録いただいたメールアドレスに通知します。試験当日までに必ず受験票をダウンロードし，A4 用紙にカラー印刷（拡大・縮小は不可）のうえ，試験当日持参してください。

また，令和８年９月 24 日（木）に本学ウェブサイトに「受験者心得」を掲載いたします。試験にかかる重要な内容となりますので，掲載後，各自速やかに確認してください。

《https://www.u-gakugei.ac.jp/nyushi/shushi/》

７．受験に際して配慮を必要とする者の事前相談

（１）障がいがある等の理由で，受験上及び修学上配慮を必要とする者若しくは不安を感じる者は，出願に先立ち相談締切日までに事前相談申し出書（診断書等関係書類添付）を提出し，あらかじめ本学と相談のうえ出願してください。（なお，内容によっては対応に時間を要する場合もあるので，可能な限り早期に申し出てください。）

（２）障がい等のある志願者が，選抜の際に不利に扱われることはありません。

（３）事前相談申し出書には次の内容を記載してください。（様式は問いません。）

①志望する専攻・プログラム名

②障がい等の種類・程度

③受験上及び修学上配慮を必要とする事項

④大学等でとられていた特別措置

⑤日常生活の状況

⑥連絡先（住所及び電話番号やメールアドレスなど）

⑦その他参考となる事項

（４）相談締切日　　令和８年７月３日（金）

（５）問い合わせ先　東京学芸大学入試課

〒184-8501　東京都小金井市貫井北町４－１－１

電話　042-329-7203（平日９時～12 時，13 時～17 時）

８．「派遣教員選抜」の事前相談

（１）派遣教員選抜で出願する際には，指導を希望する教員（決まっていない場合は希望する専攻・プログラムの教員）に必ず事前に相談を行ってください。

（２）事前相談を行うにあたり，次の内容を記載したメールを令和８年７月 10 日（金）までに入試課大学院入試係宛に送信してください。なお，本学からの返信には時間を要する場合があります。

①氏名

②勤務先及び教育委員会
③希望する専攻・プログラム及び希望する指導教員名（指導教員が決まっていない場合は，専攻・プログラムのみ記載）
④住所，連絡先メールアドレス及び電話番号
⑤研究テーマ

（３）問い合わせ先
東京学芸大学入試課
sodan723@u-gakugei.ac.jp（派遣教員選抜事前相談専用）

９．選抜方法等

（１）選抜方法
①「学力検査」（外国語科目，専門科目），「面接試問」，「出願書類」により総合して行います。なお，専門科目には，実技が含まれることがあります。
②現職教員選抜，社会人選抜，教育支援人材特別選抜及び外国人留学生等選抜は「学力検査」の外国語科目を免除し，「学力検査」（専門科目），「面接試問」，「出願書類」により総合して行います。
③派遣教員選抜は「学力検査」（外国語科目，専門科目）を免除し，「面接試問」，「出願書類」により総合して行います。

（２）合否判定基準
合否判定は，（１）で実施された結果を基に総合的に判定する。
ただし，受験科目の成績が１科目（科目によっては，構成する種類の１科目）でも本研究科の定めた得点基準に達していない場合は，総合点の如何にかかわらず不合格とします。

（３）学力検査等の内容及び配点

○一般選抜

専攻・プログラム	外国語科目 100 点	専門科目 100 点	面接試問・出願書類 200 点
次世代日本型教育システム研究開発専攻	英語	専門科目	面接試問
教育支援協働実践開発専攻教育 AI 研究プログラム	英語	専門科目	面接試問
教育支援協働実践開発専攻臨床心理学プログラム	英語	専門科目	面接試問
教育支援協働実践開発専攻教育協働研究プログラム	英語	専門科目	面接試問

○現職教員選抜

専攻・プログラム	外国語科目	専門科目 200 点	面接試問・出願書類 200 点
次世代日本型教育システム研究開発専攻	免除	専門科目	面接試問
教育支援協働実践開発専攻教育 AI 研究プログラム	免除	専門科目	面接試問
教育支援協働実践開発専攻臨床心理学プログラム	免除	専門科目	面接試問
教育支援協働実践開発専攻教育協働研究プログラム	免除	専門科目	面接試問

○派遣教員選抜

専攻・プログラム	外国語科目	専門科目	面接試問・出願書類 400 点
次世代日本型教育システム研究開発専攻	免除	免除	面接試問
教育支援協働実践開発専攻教育 AI 研究プログラム	免除	免除	面接試問
教育支援協働実践開発専攻臨床心理学プログラム	免除	免除	面接試問
教育支援協働実践開発専攻教育協働研究プログラム	免除	免除	面接試問

○社会人選抜

専攻・プログラム	外国語科目	専門科目 200 点	面接試問・出願書類 200 点
次世代日本型教育システム研究開発専攻	免除	専門科目	面接試問
教育支援協働実践開発専攻教育 AI 研究プログラム	免除	専門科目	面接試問
教育支援協働実践開発専攻臨床心理学プログラム	免除	専門科目	面接試問
教育支援協働実践開発専攻教育協働研究プログラム	免除	専門科目	面接試問

○教育支援人材特別選抜

専攻・プログラム	外国語科目	専門科目 200 点	面接試問・出願書類 200 点
教育支援協働実践開発専攻教育協働研究プログラム	免除	専門科目	面接試問

○外国人留学生等選抜（外国人留学生，外国で教育を受けた者）

専攻・プログラム	外国語科目	専門科目 200 点	面接試問・出願書類 200 点
次世代日本型教育システム研究開発専攻	免除	専門科目	面接試問
教育支援協働実践開発専攻教育 AI 研究プログラム	免除	専門科目	面接試問
教育支援協働実践開発専攻臨床心理学プログラム	免除	専門科目	面接試問
教育支援協働実践開発専攻教育協働研究プログラム	免除	専門科目	面接試問

（４）学力検査等の内容及び時間

<table>
<tr><td colspan="3">試験期日</td><td colspan="3">10/17（土）</td><td>10/18（日）</td></tr>
<tr><td colspan="2">専攻・プログラム</td><td>試験科目・時間
選抜区分</td><td>外国語科目
9:00～10:00</td><td>専門科目
10:30～12:00
（○：必答問題，●：選択問題）</td><td>面接試問
13:30～</td><td>面接試問</td></tr>
<tr><td rowspan="5">次世代日本型教育システム研究開発専攻</td><td rowspan="5"></td><td>一般選抜</td><td>英語
※辞書を使用してよい（注）</td><td rowspan="4">【専門科目】
●地域研究
●比較教育・教育史
●日本語教育
●次世代教育
上記の中から，自分の志望する領域１つを選び，その領域で出題されている問題を解答する。</td><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">全員が受験する
（時間は前日に掲示する）</td></tr>
<tr><td>現職教員選抜</td><td></td></tr>
<tr><td>社会人選抜</td><td></td></tr>
<tr><td>外国人留学生等選抜</td><td></td></tr>
<tr><td>派遣教員選抜</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="5">教育支援協働実践開発専攻</td><td rowspan="5">教育ＡＩ研究プログラム</td><td>一般選抜</td><td>英語
※辞書を使用してよい（注）</td><td rowspan="4">【専門科目】
大問２問を出題する。
○大問１：基本的な用語の知識を問う問題。基盤領域，第１領域，第２領域，第３領域の問題から５題を選択して解答する。ただし，各領域の問題を最低１題解答する必要がある。
○大問２：論述問題。第１領域，第２領域，第３領域の３領域から１問を選択して解答する。
注：基盤領域と第１～３領域は，以下に示す内容である。
・基盤領域：AI（人工知能）とその利活用や，高度情報化社会に関する内容。
・第１領域：情報科学・情報工学（情報に関するリテラシー・セキュリティー・倫理なども含む），教育工学などに関する内容。
・第２領域：教育心理学（教授学習，認知，社会，発達）に関する内容。
・第３領域：教科教育学，文学・言語学，環境科学，宇宙・地球科学，デザイン学，体育学ならびに健康スポーツ科学などに関する内容。</td><td rowspan="5">全員が受験する</td><td rowspan="5">（予備日）</td></tr>
<tr><td>現職教員選抜</td><td></td></tr>
<tr><td>社会人選抜</td><td></td></tr>
<tr><td>外国人留学生等選抜</td><td></td></tr>
<tr><td>派遣教員選抜</td><td></td><td></td></tr>
</table>

（注）上記表中の外国語科目欄の辞書については，一般的語学辞書のみとする。
（専門用語辞典及び電子辞書の使用は認めない。）

試験期日			10/17（土）			10/18（日）
専攻・プログラム		試験科目・時間 選抜区分	外国語科目 9:00～10:00	専門科目 10:30～12:00 （○：必答問題，●：選択問題）	面接試問 13:30～	面接試問
教育支援協働実践開発専攻	臨床心理学プログラム	一般選抜	英語 ※辞書を使用してよい（注）	【専門科目】 ○臨床心理専門		全員が受験する （時間は前日に掲示する）
		現職教員選抜		【専門科目】 ○臨床心理に関する論述	全員が受験する	（予備日）
		社会人選抜		【専門科目】 ○臨床心理に関する論述		
		外国人留学生等選抜		【専門科目】 ○臨床心理専門		
		派遣教員選抜				
	教育協働研究プログラム	一般選抜	英語 ※辞書を使用してよい（注）	【専門科目】 ○下記の各領域から構成される教育協働に関する論述問題 －生涯学習，文化遺産教育，ソーシャルワーク，生涯スポーツ，多文化共生教育，表現教育，アート，デザイン，教育行政－	全員が受験する	（予備日）
		現職教員選抜				
		社会人選抜				
		教育支援人材特別選抜				
		外国人留学生等選抜				
		派遣教員選抜				

（注）上記表中の外国語科目欄の辞書については，一般的語学辞書のみとする。
（専門用語辞典及び電子辞書の使用は認めない。）

（５）学力検査等会場　東京学芸大学（東京都小金井市貫井北町 4-1-1）

　　ＪＲ中央線　「武蔵小金井駅」下車（北口）

　　　・京王バス「小平団地」行き又は「国分寺駅北口」行き乗車，「学芸大正門」下車

　　　・徒歩約25分

　　ＪＲ中央線・西武線　「国分寺駅」下車（北口）

　　　・京王バス「武蔵小金井駅北口」行き乗車，「学芸大正門」下車

　　　・徒歩約20分

※　各専攻・プログラムの試験室等は，試験前日午前10時に本学所定の掲示板及びウェブサイト上に掲示します。ただし，試験室には入れません。

※　試験当日は，正門を利用してください。

10. 合格者の発表

令和８年 10 月 30 日（金）　午前 10 時

本学ウェブサイト上で合格者受験番号一覧を７日間掲載するとともに，合格者には合格通知書等を郵便で発表当日に発送します。なお，電話等による問い合わせには一切応じません。

教育学研究科入試情報《https://www.u-gakugei.ac.jp/nyushi/shushi/index.html》

11. 欠員補充第２次募集

入学定員に不足が生じた場合は，欠員補充のための第２次募集を実施することがあります。欠員補充第２次募集を実施する場合は，１２月中旬以降に本学ウェブサイトに募集要項等を掲載します。

《https://www.u-gakugei.ac.jp》

12. 入学手続

所定の諸経費を納入し，郵送により必要書類を提出してください。郵送手続ができない場合に限り，入学手続日に直接持参することを認めます。詳細は，合格者に対し「合格通知書」に同封する書類で確認してください。

なお，期間内に入学手続を完了しない者は，入学を辞退したものとして取り扱います。

①郵送の場合

令和８年 11 月 16 日（月）必着とします。(「書留郵便」でお送りください。)

宛先　〒184-8501　東京都小金井市貫井北町４－１－１　東京学芸大学入試課

②来学の場合

受 付 日…令和８年 11 月 16 日（月）当日のみ

受付時間…９時 30 分～11 時 30 分，13 時 30 分～15 時 30 分

（受付時間以外は入学手続ができないため，時間を厳守でお願いします。）

場　　所…東京学芸大学（場所の詳細は合格通知書に同封します。）

13. 諸経費

（１）入学料　　282,000 円

（２）授業料　　267,900 円（春学期分）

　　　　　　　　535,800 円（年額）

（注）①入学料及び授業料は，改定することがあります。

②春学期分の授業料について，上記入学手続期間に納入しない場合は，令和９年４月１日から４月 30 日までの間に納入してください。

③授業料の納入については，希望により春学期分の納入の際に秋学期分も合わせて納入することができます。

④授業料改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用されます。
⑤一旦納入した入学料は返還しません。
⑥授業料については，入学手続を行った者が，令和９年３月31日（３月31日が土日の場合は，３月31日以前の平日）までに入学を辞退した場合には，納入した者の申し出により，当該授業料相当額を返還します。

14. 留意事項

（１）受験のための宿泊施設のあっせんは行いません。
（２）この募集要項に記載されていることについて変更が生じたときは，本学ウェブサイト等により通知等を行うことがあるので留意してください。
（３）試験当日に最寄りの駅から試験場周辺にかけて，勧誘や販売等をしている者がいることがありますが，それらの行為は，東京学芸大学とは全く関係ないので十分注意してください。不当な料金を請求される等のトラブルに巻き込まれても，本学は一切責任を負いません。

15. 入学試験情報

（１）過去の入学試験問題・解答例
　過去５年間のうち志願者のあった専攻・プログラムの入学試験問題・解答例は，東京学芸大学図書館にて閲覧できます。また，直近の３年分をサイバーカレッジ（大学過去問題専門サイト）から閲覧・ダウンロードできます。

本学図書館　《https://lib.u-gakugei.ac.jp/》

サイバーカレッジ　《http://www.cybercollege.jp/u-gakugei-gs/index.php》

（２）入学試験成績
　令和９年度入学者選抜試験の不合格者に対して，本人の請求に基づき，各受験科目（科目を構成する種類ごとの得点を除く）の得点を開示します。
①請求期間・方法　令和９年３月１日（月）～３月31日（水）
　郵送（令和９年３月31日（水）の消印有効）
②必要書類
　ア．開示請求書（本学所定の用紙）
　イ．受験票（本人確認のため）

本学所定の様式（ウェブサイト上の本学所定の様式をプリントアウトして使用）
《https://www.u-gakugei.ac.jp/nyushi/shushi/-2.html》
掲載開始：令和９年２月中旬

16. 個人情報の取扱いについて

　個人情報については，「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人東京学芸大学の保有する個人情報の保護に関する規程」に基づいて取り扱います。
　本学に提出する出願書類等に記載された個人情報は，入学者選抜及び合格通知並びに入学手続を行うために利用します。また，同個人情報は入学後の教務関係（学籍，修学指導等），学生支援関係（奨学金申請等）及び授業料等に関する業務を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

○　入学料及び授業料免除制度

経済的理由により入学料又は授業料の納付が困難であり，かつ，学業優秀と認められる者には，申請により選考のうえ，納付すべき入学料又は授業料が免除される制度があります。

手続等の詳細は，本学のウェブサイト（下記URL）又は入学手続案内に同封する「入学料及び授業料免除等について」をご覧ください。

東京学芸大学ウェブサイト
学生生活・キャリア支援＞入学料・授業料の免除・徴収猶予制度
《https://www.u-gakugei.ac.jp/tuition-exemption/》

※ウェブサイトから申請用紙等の入手が困難な場合は，以下連絡先にお問い合わせください。
連絡先　　東京学芸大学　学務部　学生課　学生支援係（電話：042-329-7186）

○　日本学生支援機構奨学金の予約採用制度

（詳細）日本学生支援機構ウェブサイト
《https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/yoyaku/index.html》

早くから入学後の経済計画や研究計画が立てられるように『予約採用』申請することを強くお勧めします。『予約採用』は出願・入学よりも前に申請することになりますので，本学大学院教育学研究科へ出願・入学する意思があれば申請可能です。※なお，入学直後の４月に申請する『在学採用』制度もあります。

	申請時期	初回振込時期
予約採用	書類配布：令和８年９月中旬～ 申　　込：令和８年10月中旬 結果通知：令和９年１月下旬	令和９年４月中旬又は５月中旬 ※進学届提出時期によって分かれます。

予約採用の申し込みを希望する場合は，本学のウェブサイト（下記 URL）から専用サイト（新年度分は９月中旬掲載予定）にアクセスし，手続方法に従って申請してください。なお，外国人留学生は対象になりません。

東京学芸大学ウェブサイト
学生生活・キャリア支援＞奨学金制度
《https://www.u-gakugei.ac.jp/scholarship/》

○　本学へのアクセス・構内キャンパスマップ

本学のウェブサイト（下記 URL）にて確認してください。
《https://www.u-gakugei.ac.jp/access/》

〈参考〉

教育学部・教職大学院・修士課程は「インターネット出願方式」になります。

東京学芸大学インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです。「学生募集要項」で必ず詳細を確認して不備の無いように出願してください。

STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4	STEP 5	STEP 6		STEP 7
事前準備	出願サイトにアクセス	マイページの登録	出願内容の登録	検定料の支払い	出願書類の印刷と郵送	出願完了	受験票の印刷

STEP 1 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、カラー印刷対応のプリンターを用意してください。
出願に必要な書類は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。
出願に必要な書類は、学部・大学院の各選抜区分や出願先によって異なります。それぞれの「学生募集要項」を確認しながら準備をしてください。
インターネット出願サイトからダウンロードして印刷する書類以外にも、各選抜区分や出願先に応じて、東京学芸大学webサイトから様式をダウンロードして作成する書類や、高校や競技団体等（大学院に出願する場合は大学や勤務先等）に作成を依頼する書類・証明書等が必要になります。
必要書類の不足・不備が生じないように注意しながら準備を進めてください。

STEP 2 インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト ▶ **https://e-apply.jp/ds/u-gakugei/**

または、

東京学芸大学webサイト内 ▶ **https://www.u-gakugei.ac.jp/**

リンクからアクセス

STEP 3 マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。

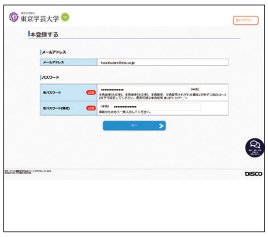
①初めて登録する方は マイページ登録 から ログインしてください。

②メールアドレスの登録を行って 仮登録メールを送信＞ を クリックしてください。

③ユーザー登録画面から ログインページへ を クリックしてください。

④登録したメールアドレスに 初期パスワードと 本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。

⑤ログイン画面から 登録したメールアドレスと④で 届いた『初期パスワード』にて ログイン を クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を 行ってください。

⑦表示された個人情報を入力して 次へ を クリックしてください。

⑧個人情報を確認して この内容で登録する を クリックしてください。

⑨登録完了となります。
マイページへ を
クリックしてください。

⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、出願手続きを行う ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので ログアウト ボタンをクリックしてください。

STEP 4

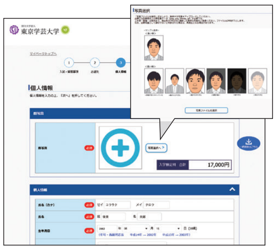
出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ

②入試選択

③出願先の選択



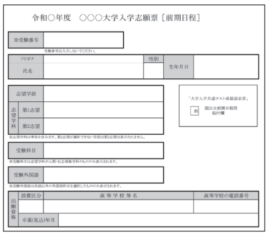
④顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。

⑤個人情報（氏名·住所等）の
入力

⑥出願内容の確認

⑦申込登録完了
「受付番号」が表示されるので、必ずメモをして控えてください。
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。

⑧検定料の支払い方法
- ●コンビニエンスストア
- ●ペイジー対応銀行ATM
- ●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願に必要な書類PDF
（イメージ）
※**検定料納入後に出力可能となります。**

申込登録完了後は、登録内容の修正·変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。
なお、「検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号メモ（13桁）	

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済番号メモ（11桁）	

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号メモ（11桁）	
確認番号メモ（6桁）	
収納機関番号（5桁）	5 8 0 2 1

※収納機関番号は、ペイジーでお支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元（@e-apply.jp）からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

STEP 5

検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】
VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード

出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

セブン-イレブン、デイリーヤマザキ、ヤマザキデイリーストアー、セイコーマート

●店頭端末を利用して支払い可能

Loppi：LAWSON、MINISTOP

マルチコピー機：FamilyMart

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

セブン-イレブン（店頭レジ）
1. レジで「インターネット代金支払い」と伝える
2. 「払込票番号（13桁）」を伝える
3. レジで検定料を現金で支払う※
4. 領収書（レシート形式）を必ず受け取る

デイリーヤマザキ ヤマザキデイリーストアー（店頭レジ）
1. レジで「オンライン決済」と伝える
2. 「オンライン決済番号（11桁）」を伝える
3. レジで検定料を現金で支払う※
4. 領収書（レシート形式）を必ず受け取る

ローソン ミニストップ（Loppi）

1. 「各種番号をお持ちの方」を選択
2. 「お客様番号（11桁）」入力
3. 「マルチペイメントサービス」を選択
4. 「確認番号（6桁）」入力
5. 支払い内容確認
6. 発券された申込券（受付票）をレジへ持参し、検定料を現金で支払う※ 申込券（受付票）発行後は30分以内にレジにて支払ってください。
7. 取扱明細書兼領収書を必ず受け取る

ファミリーマート（マルチコピー機）

1. 「代金支払い/チャージ（コンビニでお支払い Payment/Charge）」を選択
2. 「お客様番号（11桁）」入力
3. 「確認番号（6桁）」入力
4. 支払い内容確認
5. 発券された申込券（受付票）をレジへ持参し、検定料を現金で支払う※ 申込券（受付票）発行後は30分以内にレジにて支払ってください。
6. 取扱明細書兼領収書を必ず受け取る

セイコーマート（店頭レジ）
1. レジで「インターネット代金支払い」と伝える
2. 「オンライン決済番号（11桁）」を伝える
3. レジで検定料を現金で支払う※
4. 取扱明細書兼領収書を必ず受け取る

4 銀行ATM

Pay-easy 利用ATM（ペイジー対応銀行ATM）
1. 「税金・料金払い込み」などを選択
2. 収納機関番号「58021」を入力
3. 「お客様番号（11桁）」入力
4. 「確認番号（6桁）」入力
5. 支払い内容確認
6. 「現金」「キャッシュカード」を選択し支払う※
7. ご利用明細書を必ず受け取る

※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP 6

出願書類の印刷と郵送

登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願登録、検定料の支払後にダウンロードできる書類をカラーで片面印刷し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「書留速達郵便」で郵送してください。（持参による出願は受け付けません。）

出願書類

出願に必要な書類は、学部･大学院の各選抜区分や出願先よって異なります。それぞれの「学生募集要項」を確認しながら準備をしてください。
インターネット出願サイトからダウンロードして印刷する書類以外にも、各選抜区分や出願先に応じて、東京学芸大学webサイトから様式をダウンロードして作成する書類や、高校や競技団体等（大学院に出願する場合は大学や勤務先等）に作成を依頼する書類･証明書等が必要になります。
必要書類の不足･不備が生じないように注意しながら準備を進めてください。

出願書類提出用宛名シート
市販の角形2号封筒（24㎝×33.2㎝）に貼り付けて作成

宛名シート
送付先の住所・宛名は「宛名シート」に自動で印刷されます。

【注意】学部「一般選抜」において、「前期日程」と「後期日程」の両方とも本学に出願する場合は、試験日程ごとの出願手続が必要です。必要書類は「前期日程」と「後期日程」の2通に分けて郵送提出する必要がありますのでご注意ください。

出願に必要な書類の詳細は「学生募集要項」を参照してください。
いったん受理した検定料は、「学生募集要項」に記載している理由によるものを除き返還しません。

入学志願票の印刷方法

(1) マイページに表示された 志願票（印刷） のボタンをクリックしてください。

(2) 検定料の支払いが正常に完了すると 志願票（印刷） のボタンがクリックできるようになり入学志願票の出力ができます。（「宛名シート」は入学志願票に続いて出力されます。）

〈出願完了〉

出願時の注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、検定料を支払い、出願書類を郵送して完了となります。
登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理しませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能ですが、検定料の支払い（営業時間はコンビニエンスストアやATMなど施設によって異なります）や出願書類の郵送提出はそれぞれの期間･時間内に限ります。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP 7

受験票の印刷

本学で出願を受理した後、受験票の印刷が可能になりましたら、出願時に登録されたメールアドレスに通知をします。

インターネット出願サイトから受験票をダウンロードのうえ、A4用紙にカラー片面印刷をして試験当日に持参してください。
（本学から受験票の郵送は行いません。）